帯広市立 大空中学校だより

星と森の大空へ

No.8 令和3年 9月3日発行 校長 村松正仁

~ 重点目標 ~
ONE TEAMで
大空学園義務教育学校へ
家庭・地域に支えられ
共にあゆみ、共につくる
夢のある学校

修学旅行。文化等の考え方

暑さもかげをひそめ、すがすがしい日が続いていますが、北海道の緊急事態宣言の指定をうけて、学校教育活動に一部変更や延期が続いています。学校は年間の教育計画を 4 月に決めて、1 年間計画に沿いながら授業や行事などを進めています。現在のところ、教科の進度に影響はありませんが、行事の縮小や延期しているものもあります。3 年生の修学旅行は残念ながら延期をしましたが、現在 10 月 24 日に出発が出来るよう再度調整をして進めています。詳しくは 3 年団からのお知らせをご確認ください。



また、文化祭については、感染予防の観点から全校生徒が一堂に会して実施する形態はとらずに、文化祭の3つの目標を達成するために、時間と内容を精選して、「各学年開催」で準備を進めています。

=文化祭の目的・目標=

- ① 日常の教科などで取り組んだ文化的・創造的成果と発表の場とする。
- ② 生徒の自主的活動や意欲的な生活態度を養い、学年、学級での責任感・連帯感を養う。
- ③ 保護者や地域との連携を深める。

3 つ目の目標達成については、帯広市の感染状況次第で危うい部分もあります。地域の方々や保護者の方々への日頃の感謝の気持ちを込めて実施をしたいと考えていますが、場合によっては、保護者のみ、または、無観客と言うことも想定しています。また、実施日については、2 日間(9月30日、10月1日)平日開催となる予定です。ご理解とご協力よろしくお願いいたします。

全国学力調査結果について

先日、令和3年5月に行われた全国学力学習状況調査の結果が発表されました。実施した学年は3年生ですが、主に内容は2年生までの国語と数学の学習の定着を図るものとなっています。

また、生徒へのアンケートも含まれていて、子どもたちの生活の状況や今感じていることなども全国や 全道の子どもたちと比較が出来るものです。

分析ができ次第、ホームページにアップしますので、ご確認いただければと思います。各個人への得点 通知なども配布いたしますので、ご家庭で確認いただければと思います。

本校の概要は概ね次のようになっています。

〈国語〉

- ○総合的に全国平均よりやや低い傾向となっています。
- ○読む力や書く力にやや課題があります。

<数学>

- 〇総合的に全国平均よりやや低い傾向となっています。
- ○図形の分野にやや課題があります。



各種アンケート概要報告

「学校活動の評価」

95名の保護者からご回答をいただきましたありがとうございます。概ね学校の取組にご理解いただいていますが、「学校は、子どもや保護者の疑問や悩みに寄り添う姿勢をもっている。」では、割合は少ないものの不安を感じている保護者の方がおられました。この項目は0%となるよう職員一同努力をしていきたいと思います。

代表項目の二つをお知らせします

- 1「学校は、教育方針や学校の様子を家庭や地域へわかりやすく伝えている。」、
- 2「学校は、保護者が我が子を安心して通学させられる場になっている。」については、

◎9割以上の生徒・保護者が肯定的に回答していただいてます。学校を地域に開きつつ、これまで以上に積極的な情報提供に努め、家庭や地域の声をしっかり聞いていきます。この項目以外については、学校のホームページに掲載しますので確認いただければ幸いです。

「<u>タブレット端末持ち帰りのアンケート</u>」

この夏休みに、一人一人にタブレット端末の持ち帰り利用を行いました。75名の保護者から回答をいただきました。ありがとうございました。全体考察として下記にお示ししますが、後ほど学校のホームページに掲載しますのでご確認いただければ幸いです。

=考察=

日常のタブレットによる学習に期待する生徒、保護者が多いなか、生徒に比べて、保護者の方が持ち帰りに否定的である(約2.5割)。WIFI環境、家庭での管理に不安を抱く保護者が約2.5割程いる。

今後の方向性として、「家庭でのタブレット使用のきまり」の策定と状況管理を行いながら、家庭とともに正しく便利な使い方を指導しながら、情報社会の当たり前のツールとして、今後も活用拡大を図っていきたいと思います。特に学習利用に効果的な家庭の使用方法について考えていきますのでご協力をお願いします。

「義務教育学校開校に向けたアンケート」

小中学校合わせて138名の保護者の方から回答をいただきました。ありがとうございます。

「期待する学校像について」の設問では、「楽しく安全に通える学校」「児童・生徒が夢や希望を育める学校」「次 世代(未来)を担う人間を育てる学校」の順で多い回答がありました。

「9年間継続した教育活動への期待」の設問では、「仲間とともに協力し、思いやりの心などの大切さがわかる教育環境」「自主性・自立心を育む教育」「礼儀やマナー」の順で多い回答がありました。

「**9年間継続した教育活動への不安について」**の設問では、「小中で交流する際のマイナスの影響」、「教師の目が行き届かなくなること」への不安に加え「どのような学校になるのか」への不安や「なぜ小中が一緒になるのかの疑問」を抱える保護者が多い結果となりました。

「地域との関わりについて」の設問では、「高齢者との関わり・ボランティア」「大空まつりなど地域の行事への参加」「地域の方の学校行事への参加」等の期待が多い結果となりました。

「学力の向上を期待する教科について」の設問では、「英語」が最も高く、「算数・数学」「国語」の順となり、 その次に期待しているのが「道徳」という結果でした。

アンケートを参考に次年度の義務教育学校の教育計画を策定中です。地域の方々と協力できる学校の姿を目指し、地域で子どもたちを「教え、鍛え、育む」ことの出来る義務教育学校を目指していきます。英語への期待も多いことから、英語教育全般に力を入れていく予定です。詳しい結果は、後日、学校のホームページに掲載しますのでご確認いただければ幸いです。

お知ら世

本校ではこれまで、体育科の授業として冬期間アイスホッケーの授業を行ってきました。次年度義務教育学校になることを見据え、今年度からスケートの授業を10月からはじめから会場を帯広の森アイスアリーナを会場に授業を行う予定ですのでお知らせします。詳しくは月曜日に文書でお知らせします。

